

2016 年 9 月 28 日

全国健康保険協会東京支部
株式会社みずほ銀行

健康経営・健康づくりの推進に関する連携協定の締結について

全国健康保険協会東京支部（支部長：矢内 邦夫、以下「協会けんぽ東京支部」）と株式会社みずほ銀行（頭取：林 信秀、以下「みずほ銀行」）は、健康経営（※1）・健康づくりの普及・推進を目的として、本日、連携協定を締結しました。

※1「企業が従業員の健康に配慮することによって、経営面においても大きな成果が期待できる」との考えに立ち、従業員の健康づくりを戦略的に実践していく経営。

協会けんぽ東京支部とみずほ銀行は、包括的な連携・協力のもと、中小企業による健康経営・健康づくりの推進を図ります。具体的には、協会けんぽ東京支部が行っている「健康企業宣言」（※2）を実施した企業や、「健康優良企業」（※2）の認定を受けた企業等に対し、インセンティブを付与する仕組みづくりで連携・協力していきます。また、講演会や商談会等のイベントでも相互に協力し、健康経営の普及に取り組めます。

※2 2015 年 12 月に協会けんぽ東京支部が開始。企業全体で健康づくりに取り組むことを宣言した企業をサポートし、一定基準に達した企業を「健康優良企業」として認定する制度。

加えて、東京都中小企業制度融資「政策特別」（東京信用保証協会保証付）に、協会けんぽ東京支部とみずほ銀行が連携して組成した融資制度が採択され、9 月 21 日より運営を開始しました。本融資制度は、「健康企業宣言」を行った中小企業向けに、信用保証料が一部補助される等、健康経営を実践する企業をサポートするものです。

協会けんぽ東京支部とみずほ銀行は、本協定に基づき、本融資制度の運営をはじめとする健康経営の普及に向けた仕組みを構築することや、相互に連携してそれぞれのお客さまへの健康経営の意義を案内すること等を通じて、健康経営・健康づくりの普及・推進に積極的に取り組み、地域社会の発展と地域経済の活性化に貢献していきます。

以 上